

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-044346

(43)Date of publication of application : 08.02.2002

(51)Int.Cl.

H04N 1/00

G06F 15/00

H04N 1/32

(21)Application number : 2000-227167

(71)Applicant : MURATA MACH LTD

(22)Date of filing : 27.07.2000

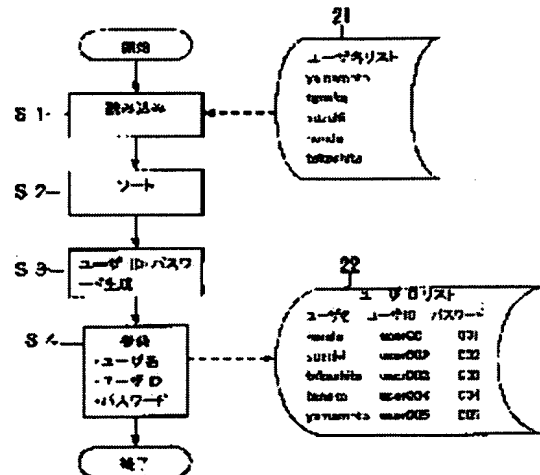
(72)Inventor : TANIMOTO YOSHIFUMI

(54) FACSIMILE SERVER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a facsimile server that can simply register a user ID and a user password even when many clients are registered.

SOLUTION: The facsimile server 1 is provided with a means that reads a list file 21 denoting user names to be registered, a means that generates user IDs to the user names not in duplicate with each other, a means that generates passwords with respect to the user names respectively, and a means that registers the generated user IDs and passwords.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

일본공개특허공보 평 14-044346호(2002.02.08) 1부.

[첨부그림 1]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-44346

(P2002-44346A)

(43) 公開日 平成14年2月8日(2002.2.8)

(51) Int. Cl.	識別記号	F I	ページ(参考)
H04N 1/00	107	H04N 1/00	107A 5B086
G06F 15/00	330	G06F 15/00	330B 5C062
H04N 1/32		H04N 1/32	Z 5C075

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全5頁)

(21) 出願番号 特開2000-227187(P2000-227187)

(22) 出願日 平成12年7月27日(2000.7.27)

(71) 出願人 000008297

村田機械株式会社

京都府京都市南区西九条四丁目3番地

(72) 発明者 谷本 健史

京都市伏見区竹田南代町136番地 村田機

械株式会社内本社工場内

(74) 代理人 100080182

弁理士 渡辺 三彦

Fターム(参考) 5E085 AE02 AE03 BC01 BC07

5C062 AA02 AA14 AA30 AA35 AB43

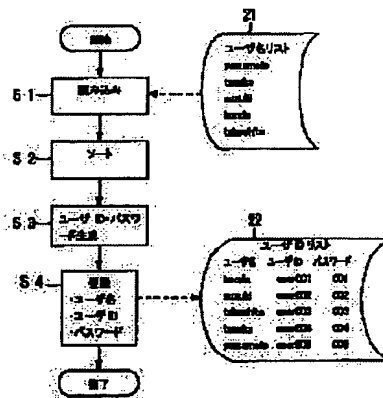
AB44 AC43 AF12 AF14 BA00

5C075 AB60 CA14 CD07 ED02 FF90

(54) 【発明の名称】 ファクシミリサーバ

【課題】 登録すべきクライアントが多い場合であっても、ユーザIDとパスワードを簡単に登録することのできるファクシミリサーバを提供すること。

【解決手段】 登録すべきユーザ名を示したリストファイル21を読み込む手段と、夫々の前記ユーザ名に対して重複しないようにユーザIDを生成する手段と、夫々の前記ユーザ名に対してパスワードを生成する手段と、生成されたユーザID及びパスワードを登録する手段とを備えたファクシミリサーバ。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 登録すべきユーザ名を示したリストファイルを読み込む手段と、夫々の前記ユーザ名に対して重複しないようにユーザIDを生成する手段と、夫々の前記ユーザ名に対してパスワードを生成する手段と、生成されたユーザID及びパスワードを登録する手段とを備えたことを特徴とするファクシミリサーバ。

【請求項 2】 請求項 1 記載のファクシミリサーバにおいて、夫々の前記ユーザ名に対してパスワードを生成する手段は、生成されたユーザIDの一部をパスワードとして生成するものであることを特徴とするファクシミリサーバ。

【発明の詳細な説明】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ログインされる時にクライアントに対して要求するユーザIDとパスワードの登録機能を備えたファクシミリサーバに関する。

【0002】

【従来の技術】 LAN（ローカルエリアネットワーク）等のコンピュータ通信網に接続して使用するファクシミリサーバは、各クライアントからの利用者を正当な者であるか否かを確認するため、該ファクシミリサーバへのログインに際して、利用者を識別するユーザIDと各利用者に予め与えられたパスワードの入力を要求する。こうすることで、このファクシミリサーバを外部の者が勝手に使用したり、内部の共有ファイルへアクセスしたりすることを制限する。

【0003】 一般的に、ファクシミリサーバへのユーザIDとパスワードの登録を行う場合は、システムの管理者が各クライアントにおけるユーザからユーザIDやパスワードにするための数字や文字列からなる符号の符号を受け付け、これに基づいてユーザIDとパスワードを決定する。特に、ユーザIDについては、重複しないように決定する。そして、ファクシミリサーバの操作部等から1件ずつ、前記ユーザIDとパスワードを入力して設定する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 ところが、登録すべきクライアントが多い場合、管理者1人が上記したユーザID等の登録作業を行うと、多大な作業負担を負うこととなり、当該管理者にとっては酷である。一方、複数の管理者がこの登録作業を行うと、1の管理者が既に登録したユーザIDを他の管理者が重複登録してしまうといった問題が生じる。また、ユーザIDの重複登録を避けるために、ユーザのフルネームをユーザIDにするなど、ユーザIDを長いものにして重複する確率を少なくする等の対策も採られたが、使用時に、長々とユーザIDを入力しなければならず、簡便性に欠ける。

【0005】 本発明は、上記課題に鑑みてなされたものであって、本発明の目的は、登録すべきクライアントが

多い場合であっても、ユーザIDとパスワードを簡単に登録することのできるファクシミリサーバを提供することである。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、請求項 1 記載のファクシミリサーバは、登録すべきユーザ名を示したリストファイルを読み込む手段と、夫々の前記ユーザ名に対して重複しないようにユーザIDを生成する手段と、夫々の前記ユーザ名に対してパスワードを生成する手段と、生成されたユーザID及びパスワードを登録する手段とを備えたことを特徴としている。

【0007】 請求項 2 記載のファクシミリサーバは、請求項 1 記載のファクシミリサーバにおいて、夫々の前記ユーザ名に対してパスワードを生成する手段は、生成されたユーザIDの一部をパスワードとして生成するものであることを特徴としている。

【0008】

【発明の実施の形態】 以下、本実施の形態に係るファクシミリサーバについて、図面に基づいて説明する。図 1 にこのファクシミリサーバ 1 の具体的な構成例を示す。前記ファクシミリサーバ 1 は、CPU（中央処理装置）2、RAM（ランダムアクセスメモリー）3、ROM（リードオンリーメモリー）4、コーデック 5、モデム 6、NCU（ネットワークコントロールユニット）7、読取部 8、記録部 9、操作部 10 及び LAN I/F 11 を備えたものであって、各装置 2 乃至 11 は、通信可能にバス 12 によって接続されている。

【0009】 前記 CPU 2 は、所定のプログラムに従って、このファクシミリサーバ 1 を構成する各装置を制御する。

【0010】 前記 RAM 3 は、画データ、電話番号、アドレス等を予め記憶するための記憶部として、或いは一時的に蓄積される諸データ等の記憶部として機能する。

【0011】 前記 ROM 4 は、前記 CPU 2 によりこのファクシミリサーバ 1 の各部の動作が制御されるための各種プログラムを記憶している。

【0012】 前記コーデック 5 は、複数のプロトコルに対応して符号化（エンコード）・復号（デコード）するものである。すなわち、前記読取部 8 にて読み取られた画データを送信のために MH、MR、MMR 方式等により符号化し、受信した画データを復号する。

【0013】 前記モデム 6 は、例えば TUE-T の勧告 V. 3.4 規格又はこれと同様のものに従った送受信データの変調及び復調を行う。

【0014】 前記 NCU 7 は、電話回線を制御して電話をかけたり、電話を切ったりする回線制御装置であり、PSTN（公衆交換電話網）13 に接続されている。

【0015】 前記読取部 8 は、原稿の画像データを読み

取って、白黒2値に変換した画データを出力する。

【0016】前記記録部9は、例えば電子写真方式のものからなり、受信した画データを記録紙上に記録する。例えば、前記読取部8で読み取られた原稿の画データやファクシミリ受信した画データを、前記CPU2の指示により、印字出力する。

【0017】前記操作部10は、例えば、このファクシミリサーバ1の状態を表示するディスプレイ10a、電話番号等を入力するためのテンキー10b、短縮番号から発信するための短縮キー10c、原稿の読取り動作の開始等を行うためのスタートキー10d等を備えており、各種操作はこの操作部10により行われる。

【0018】前記LAN1/F11は、LAN(ローカルエリアネットワーク)14とのインターフェイスを備えており、このLAN14とファクシミリサーバ1とを通信可能に接続している。

【0019】以下、上述した構成によるファクシミリサーバ1を、例えば図2に示すネットワーク環境Aにおいて使用する場合について説明する。

【0020】前記ネットワーク環境Aにおいては、ファクシミリサーバ1は、LAN14を通じて、メールサーバ16、クライアントPC17、管理端末18と通信可能に接続されている。また、PSTN(公衆交換電話網)13を通じてG3FAX15と通信可能に接続されている。このため、G3FAX15が発信元として、ファクシミリサーバ1にファクシミリ送信し、さらに該ファクシミリサーバ1によりLAN14を通じて、他の端末等に転送することができる。

【0021】前記ファクシミリサーバ1は、各クライアントPC17における登録すべきユーザ名を示したリストファイル21を読み込ませて、ユーザID及びパスワードを登録する場合の動作について、図3に示すフローチャートに基づいて説明する。なお、以下に説明するフローチャートに示す動作は、ROM4に記憶されている制御プログラム等に基づいてCPU2の発行する命令に従って行われる。

【0022】まず、テキストファイル形式にて各ユーザ名を改訂しながら上から下へ並べたものを前記リストファイル21として前記管理端末18において作成しておく。この管理端末18から、ファクシミリサーバ1のRAM3内の所定の記憶領域に読み込ませる(81)。

【0023】このリストファイル21を読み込んだファクシミリサーバ1は、前記リストファイル21の中から改訂符号をユーザ名の区切りと判断して、順次ユーザ名を抽出し、後々管理し易いように、これらユーザ名を例えばアルファベット順にソート(並べ替えて整列)させる(82)。

【0024】つぎに、ソートされたリストファイル21の夫々のユーザ名に対して重複しないようにユーザIDを生成し、同時に、該ユーザIDの一部をパスワードと

して生成する(83)。例えば、ユーザIDには、「user」を共通部分とし、その末尾に「001」から順次変化した番号を付加した「user001」、「user002」、「user003」等がソートされた夫々のユーザ名に割り当てられる。「user001」乃至「user000」の1000種類のユーザIDより前記ユーザ名の数が多い場合には、例えば「usera001」、「user0001」など、自動的に「user」の末尾に「a」が付加されたり、番号の桁数が増やされたりして処理される。なお、ユーザIDはこれら「user001」、「user002」等に限定されるのではなく、各ユーザIDが相互に重複せず、又、不必要に長いものでなければよい。

【0025】一方、前記ユーザIDの一部からなる前記パスワードは、例えば、上記したユーザIDの数字の部分がパスワードとして生成される。すなわち、ユーザIDが「user001」、「user002」、「user003」である場合は、それぞれ、「001」、「002」、「003」がパスワードとして割り当てられるようになっている。このため、クライアントPC17等におけるユーザにとって、ユーザIDさえ記憶、記録等しておけば、パスワードは記憶、管理等し易いものとなる。

【0026】最後に、上記夫々のユーザ名に対して生成されユーザIDとパスワードは、ファクシミリサーバ1にユーザIDリスト22として登録され(84)、ファクシミリサーバ1へ前記クライアントPC17、管理端末18等からログインする際には、ファクシミリサーバ1は、このユーザIDリスト22を参照して、登録されたユーザIDとパスワードを当該クライアントPC17等に要求する。なお、必要に応じて、クライアントPC17、管理端末18等からファクシミリサーバ1にログインして、前記ユーザIDリスト22を書き換えて、ユーザIDやパスワードを変更することもできる。

【0027】なお、上記においては、ユーザIDの一部をパスワードとして生成したが、ユーザIDのみ生成されて登録されるようにしてもよい。例えば外部の者が侵入してログインされることが考えられないネットワーク環境にファクシミリサーバ1を設置した場合などは、ファクシミリサーバ1へログインする端末を制限する必要がないため、パスワードを設定しない方が便利である。又、ファクシミリサーバ1へのログイン時に、全くパスワードが要求されないと多少の不安を感じるユーザにおいては、例えば「123」のようなデフォルトパスワードが全てのユーザ名に対して生成されて登録されるようにしてもよい。

【0028】

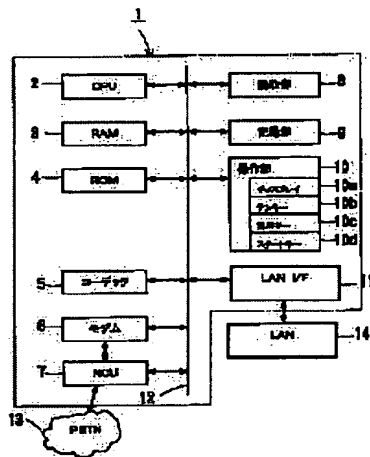
【発明の効果】請求項1記載のファクシミリサーバは、登録すべきユーザ名を示したリストファイルを読み込む手段と、夫々の前記ユーザ名に対して重複しないようにユーザIDを生成する手段と、夫々の前記ユーザ名に対してパスワードを生成する手段と、生成されたユーザID

ID及びパスワードを登録する手段とを備えたものである
ので、ユーザIDとパスワードを簡単に、且つ、ユーザ
IDを重複させることなく登録することができる。

【0029】請求項2記載のファクシミリサーバは、請
求項1記載のファクシミリサーバにおいて、夫々の前記
ユーザ名に対してパスワードを生成する手段は、生成さ
れたユーザIDの一部をパスワードとして生成するもの
であるため、ユーザにとって記憶、管理等し易いパス
ワードを自動的に登録することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】



【図1】本実施の形態に係るファクシミリサーバの構成
例を示したブロック図である。

【図2】本実施の形態に係るネットワーク環境を示した
ブロック図である。

【図3】ユーザID及びパスワードを設定するときの動
作を示したフローチャートである。

【符号の説明】

1 ファクシミリサーバ

2 1 リストファイル

【図3】

